

身体境界環境の設計

この芯が固まると、これまで話していた「スキンケア」「洗浄」「クーラー」「スキンシップ」「心身の安定」まで、バラバラではなく、「身体と外界の境界環境をどう設計するか」という一本の軸でつながってきます。

ここで「芯」を一本にすると、かなりきれいにつながります。

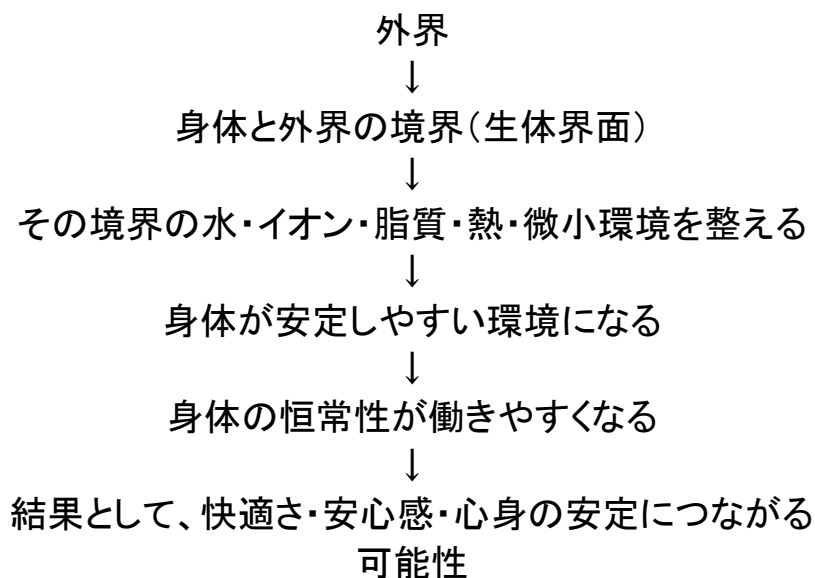
これまでの話を一段抽象化すると、共通しているのは

「何かを身体の中へ入れる」ことではなく、

身体と外界の境界にある環境を設計し、身体が安定しやすい状態をつくる

ということです。

一本の軸にすると



この一本の流れです。

そして、今まで別々に見えていたものを配置すると、

これまでのテーマ	実は何をしているのか
スキンケア	皮膚と外界の境界環境を整える
洗浄	境界環境を一度リセット・再構築する
BIFC	生体界面の環境条件そのものを設計・制御する
クーラー	身体に直接触れず、周囲の環境を制御する
スキンシップ	触覚・温度・圧などを介して生体界面に入力する
心身の安定	身体への入力環境が安定することの上位の結果として捉える

となります。

ここがかなり重要です。

「クーラー」と BIFC がつながる

以前話していた、

クーラーは身体の中に入らない。身体の周囲の環境
を変える。

という構図。

BIFC も本質的には同じです。

ただしクーラーが主に空気・温度・湿度という身体周
囲のマクロ環境を制御するのに対して、BIFC は、

皮膚直上のミクロな生体界面環境

を対象にする。

つまり、

クーラー：身体周囲の環境設計



BIFC：身体直上の境界環境設計

という関係になります。

そして「スキンシップ」も入る

スキンシップは、人が人の生体界面に直接入力する行為。

温度、圧、摩擦、触覚刺激などが皮膚から入力される。

だから、

人が触れることで生体界面に入力する



BIFC は物理・化学的環境を設計して入力する

という見方ができます。

ここで初めて、

「触れる」と「触れずに環境を整える」こと

が同じ大きなカテゴリーの中に入ってくる。

そして最終的に「心」までつながる

ここは科学的には慎重にする必要があります。

「BIFC が心を変える」と直接言うのではなく、

- 外界環境
 - 生体界面
 - 感覚・生理的入力
 - 身体状態
 - 身体が安定しやすい状態
 - 心身の安定を支える

という経路です。

だから、以前の

「心を整える」

という言葉も、いきなり心进行操作する技術ではなく、

「心身が安定しやすい身体環境を設計する」

と捉え直すと、かなり科学的に強くなります。

すると BIFC の位置が変わる

BIFC は単なる「新しいスキンケア」ではなくなります。

スキンケアという製品カテゴリーの中に BIFC がある

のではなく、

身体と外界の境界環境を設計するという上位概念の中に、スキンケア、洗浄、環境制御、触覚入力などが位置づけられる。

そして BIFC は、その中の

「生体界面環境を能動的に設計・制御する技術」

になる。

これが、ここ数日の議論で出てきた「BIFCを大きな技術カテゴリーまで引き上げる」という話の中身だと思います。

さらに一歩進めるなら、

- 成分を身体に与える技術

から

- 身体が存在する境界環境を設計する技術

へのパラダイムシフトです。

そして、この一文がかなり強いです。

身体を変えようとするのではなく、身体が外界と接している環境を設計する。

ここまで来ると、「スキンケア」「洗浄」「クーラー」「スキンケアシップ」がバラバラの話ではなくなります。

全部、「身体はどんな環境の中に存在しているのか」という一つの問いから派生している、と整理できます。